

オーストラリア南東部の熱波と森林火災について

1. 概況

オーストラリア南東部では1月末から2月初めに異常高温となった。また、同地域は少雨傾向が続いており、森林火災が発生していることが伝えられた。

2. 高温と少雨の状況

オーストラリア南東部では、1月下旬から高温傾向となり、1月28日から2月3日の7日間平均気温は平年より4~6℃が高く、異常高温となった(図1)。オーストラリア南東部のメルボルンでは1月28日~30日に日最高気温が43℃以上の日が続いた。オーストラリア気象局によると、7日には日最高気温が46.4℃となり、メルボルンでの100年以上の観測史上の記録となった(図2)。また、オーストラリア南東部では長期間にわたって少雨傾向が続いていて、メルボルンの1月の月降水量も1mm(平年値:46.1mm)だった。

3. 高温をもたらした大気の流れ

1月末から2月初めにおいて、ニュージーランド付近で高気圧が平年より強く、オーストラリア南東部では低緯度側からの暖気が入ったと見られる(図3)。また、この高気圧が強かった主な理由は、インドネシアから日付変更線付近にかけての熱帯の対流活動が平年より強かったためと考える。

※気象庁では、世界の天候に関する情報を週や月ごとにホームページで発表しています(<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/>)。

[この件に関する連絡先：気象庁 地球環境・海洋部 気候情報課 03-3212-8341 内線 3157]

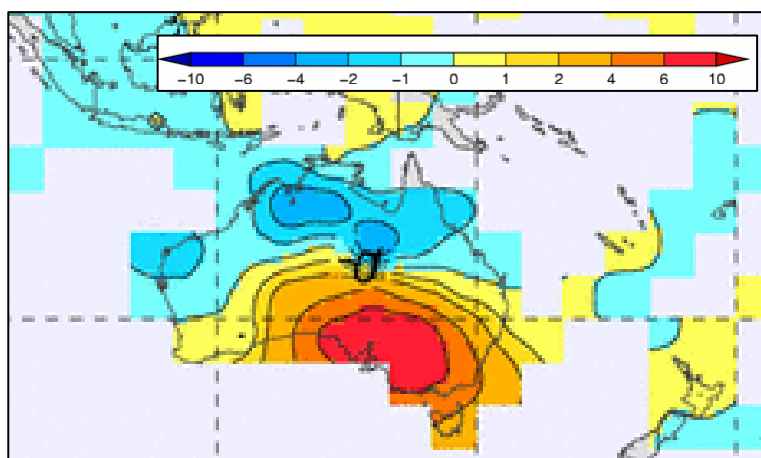


図1 2009年1月28日~2月3日の7日間平均気温平年差分布図(°C)

オレンジ色の領域が平年より高いことを示す。各国の気象機関からの気象通報データに基づく。

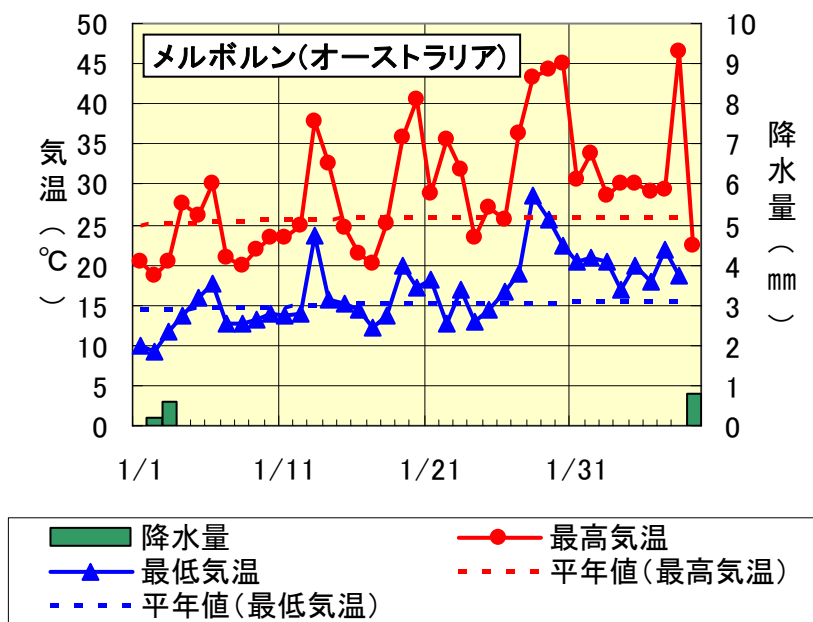


図2 メルボルン(オーストラリア) の気象経過図

2009年1月1日～2月8日の日最高気温・日最低気温とその平年値、および日降水量。赤色と青色の実線が日最高・最低気温、破線がそれぞれの平年値。緑色の棒グラフは日降水量。

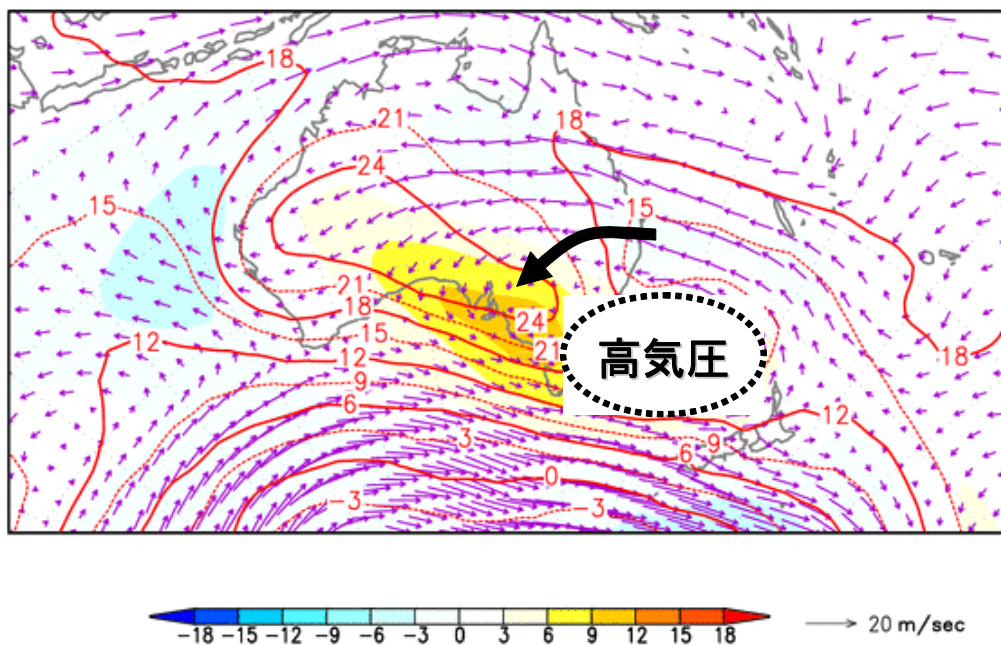


図3 上空約1500mの平均気温と風の状況(1月28日～2月3日の平均)

赤い実線が上空1500mの気温で、色の陰影が平年差を示し、オレンジ色が平年より気温が高いことを示す。矢印が風向風速を示し、風速は図の右下の凡例を参照。